

サプライヤーエンゲージメントを通じた
Scope 3 削減の取組み
【総合警備保障株式会社】

2024年3月13日



会社名	総合警備保障株式会社 (本社所在地：東京都港区元赤坂1-6-6)
設立	1965年7月16日
事業内容	セキュリティ、総合管理・防災、介護
上場市場	東京証券取引所 プライム市場（旧区分：一部）
従業員数	連結38,192名 単体12,002名
連結売上高	4,922億円
連結経常利益	392億円
主要関連会社	国内75社 海外13社

参加背景・ゴール

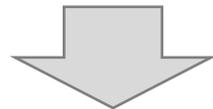
○2022年度よりScope3も含めた算定・公表を開始

⇒次の取組みとして、排出比率が高い

Scope3（カテゴリ1）の削減検討を開始

【**当社に生じていた課題**】

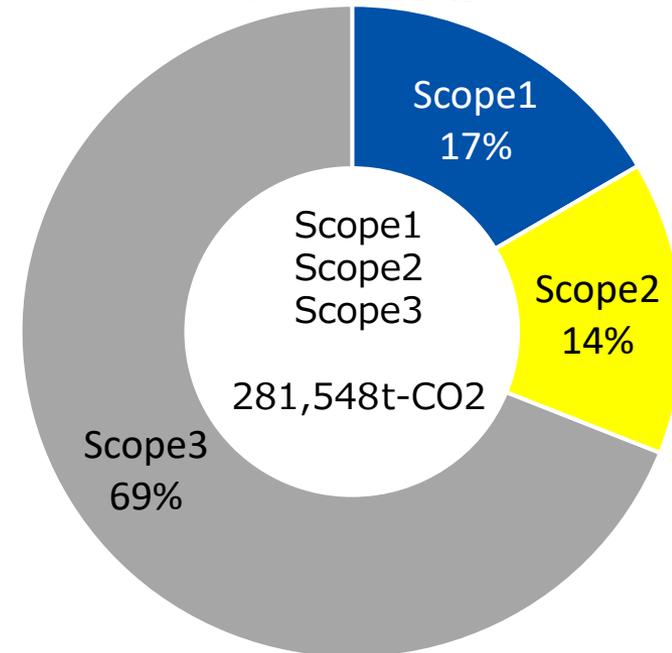
- 1) 削減に向けてどのように取り組むか
- 2) どのサプライヤーに相談するか
- 3) サプライヤーの算定結果をどのように反映するか
- 4) Scope3の削減目標をどのように設定するか



本モデル事業を通じ、サプライヤーとのエンゲージメントを高めつつ、次のゴールを目指すこととした。

- 1) 構成企業の、当社に関する製品・サービスの提供に係る排出量を算定し、
当社Scope3への反映や削減目標検討の体制を構築すること
- 2) 取組みをその他サプライヤーへと広げるため、**本事業の取組みを「手引き」として整理し、今後の展開の見通しを持つ**こと

ALSOKグループCO2排出量
【2023年3月期】



モデル事業の体制



サステナビリティ部門、調達部門で連携し、
警備業務の遂行に必要なサプライヤー様に
協力を依頼

取組の状況、成果等

取組状況

- サプライヤー様へ算定ルール把握の動画提供や算定結果のレビュー等を実施
- サプライヤー様の算定結果をALSOKのCO2排出量に反映
⇒結果、金額ベースでの算定から**約9%減少、排出量の精緻化に貢献**

取組む中で生じた課題

(1) ALSOK

- ・ 協力企業の算定結果の確認に時間が必要
- ・ 社員の算定知識向上

(2) 構成企業

- ・ 算定ルールが複雑であり、把握に時間が必要
⇒特に“適切な排出係数の選択”が難しい
- ・ 算定に必要な様式が欲しい

【抽出された課題】

算定支援の効率化

算定ルールの把握

来年度に向けた成果物の作成

- 抽出された2つの課題「算定支援の効率化」、「算定ルールの把握」を改善する必要性

⇒ 「**サプライヤー向けCO2算定ガイドライン**」を成果物として策定

【イメージ】
サプライヤー向けCO2算定ガイドライン

算定に必要なもの

各カテゴリの算定注意点

各カテゴリの算定注意点

Copyright © ALSOK. All rights reserved.

サプライヤーとの協働に係る目的、スケジュール

エンゲージメント 目的	○Scope3のCat1削減のため、特に活動量の多い警備機器、防犯カメラ 関連業者からの一次データを取得し、順次反映を目指す ○削減対策を講じ、2030年までに15%削減（SBT準拠）を実現したい	
エンゲージメント 対象	2024年度	3社：サプライヤーのうち仕入額上位順
	状況	次年度依頼予定
	将来目標	2027年度を目途に当社購入金額の30%程度を占める サプライヤーから収集
エンゲージメント 内容	サプライヤへの依頼内容	支援内容・方法
	意識醸成	ガイドラインの提供、勉強会の開催
	検討体制構築	工数負担感、データ収集課題等の説明 社内体制構築ポイントの共有
	Scope1～3 算定依頼	算定フォーマット提供、随時相談受付、 算定レビュー
	削減目標設定	勉強会、意見交換会等の開催
	削減対策検討	当社取組みの情報共有、意見交換会開催
	Scope3への反映結果の共有	勉強会、意見交換会等の開催